

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

平成30年2月28日  
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画推進事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
久山町地域公共交通 活性化協議会	公共交通マップの作成 ・町内を走る2事業者の路線及びコミュニ ティバスの路線、すべてを集約した公共交 通マップを作成。 ・運行ルート、運行ダイヤ及び路線バスへの 乗継ポイントを分かりやすいように掲載。 ・5,500部を3月中に完成させ、町内全戸配 布、町内の主要な乗継ポイント、主な公共施 設、主要商業施設、病院などで配布予定。	-	・具体的な利用方法について提示 するなど、今後工夫が必要。 ・毎年のダイヤ改正にどう対応して いくかも課題である。	事業終了後に適切に評価が行わ れるとともに、今回得られた成果や 課題が今後の地域公共交通の確 保維持にしっかりと繋がることを期 待する。	
久山町地域公共交通 活性化協議会	モビリティマネジメントの実施【久山町・コミュ ニティバス】 ・町内コミュニティバス「イコバス」において、 高齢者24名を対象としたモビリティマネジメ ントを2月中に実施予定。 ・情報提供ツールには、事業者等が作成して いる既存の路線図及び時刻表を提供する とともに、事前・事後の交通行動をそれぞれ 答えてもらうコミュニケーションアンケートを 実施予定。 ・その事前・事後のアンケート結果により、 行動変容率を算出する予定。	-	・高齢者を対象にしたが、調査に 関する説明や、それを理解しても らい引き受けてもらうことが難しい 状況にある。 ・MMは継続的に実施することが非 常に有効であるため、引き続き高 齢者を対象にMMを実施。 ・自家用車を利用している高齢者 を特に対象として実施したい。		
久山町地域公共交通 活性化協議会	乗降調査の実施 ・地域公共交通網形成計画に定める目標の 達成状況の評価及び計画に基づき事業の 評価を行うため、西鉄27B及びイコバスにお ける乗降調査を実施済み。(西鉄27B: 10/18(水)、10/29(日)、イコバス:1/21 (日)、22(月))	A	・継続的に利用状況をモニタリング することが必要であるため、今後も 継続的に実施。		
久山町地域公共交通 活性化協議会	協議会開催 計画に基づく達成状況の事業評価を行うた めの協議会を3月に開催予定。	-	・今後は、事業の達成状況の評価 は年度の最後に行うようにしたい と考える。		
岡垣町地域公共交通 協議会	①公共交通マップ・時刻表の作成 ・デマンドタクシーの対象地区・対象バス停 も含んだ公共交通マップを作成した。 ・デマンドタクシーの利用案内を時刻表に記 載した。 ・コミバスから電車で乗り継ぐ時間だけを時 刻表に記載していたが、電車からコミバスに 乗り継ぐ時間も記載した。 ・デマンドタクシーの実証運行に伴いダイヤ を改正し、公共交通マップ・時刻表を作成し た	A	計画通り実施	今回実施された調査事業は適切 に実施されているものと考えられ る。 今回得られた成果や課題が今後 の地域公共交通の確保維持にしっ かりと繋がることを期待する。	
岡垣町地域公共交通 協議会	②地区(路線)別の公共交通リーフレットの 作成 ・ダイヤ改正に合わせ、地区別に主な移動 先への公共交通移動パターンや公共交通 への行動変容を促す内容を記載したリーフ レットを作成した。	A	計画通り実施		
中間市地域公共交通 会議	(コミュニティバスに関するモニタリング) 平成28年10月から運行を開始した底井野 校区コミュニティバスの利用実態に関するア ンケート調査を実施し、住民ニーズや利用 意向を把握に努め、地域の大部分が交通 空白地であった底井野校区に導入した予約 型乗合タクシーの事業効果の検証を行っ た。 アンケートの調査対象は、底井野校区全世 帯約1,500世帯を対象に実施した。	A	底井野校区のアンケート調査から、認知度 は73.4%と高い結果であったが、利用したこ とがある方は4.9%と約5割の方が利用した ことがなく、また、利用者と想定していた75 歳以上の高齢者でも、76.1%が利用したこ とがないという状況であった。今後は、底井野 校区のモニタリング結果からの課題として、 運行日、運行便数の増便や予約方法の簡 素化など、更なる住民ニーズの把握を行う ため、住民座談会を開催し、利用したことが ない方の掘り起こしを地元自治会と連携し て取り組む。	ワークショップや利用促進につい ては利用する可能性の高い方に 客体を絞って実施される方がより 効果的である旨、第三者評価委員 会からも助言があったところであ る。 今後の方針に上げられた取組みと ともに、今回得られた成果や課題 が今後の地域公共交通の確保維 持にしっかりと繋がることを期待す る。	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
中間市地域公共交通会議	<p>〔路線バス沿線住民に対するモビリティマネジメント〕 路線バス沿線住民を対象としたモビリティマネジメントを実施し、日常の移動において公共交通を利用する意識の醸成を行った。 調査対象世帯は、中間西校区を走る路線バス沿線住民約1,800世帯を対象に実施した。</p> <p>①コミュニケーションツールの作成 路線バス沿線地域である中間西校区の住民向けの公共交通情報冊子「路線バスdeお買い物ガイドブック」を作成した。冊子には、対象地域を運行する公共交通の情報（ルート図・時刻表）、公共交通の利用に向けた動機付けの情報等を盛り込んだ。</p> <p>②コミュニケーションアンケート 対象者とのコミュニケーション施策として、沿線住民に対して、行動変容について考えてもらうためのコミュニケーションアンケートを実施した。</p> <p>③効果・課題の検証 アンケート調査結果を基に、モビリティマネジメントの効果検証を行った。</p>	A	<p>今後も交通まちづくりへの市民意識の向上に取り組むため、別小学校校区の路線バス沿線住民を対象としたモビリティマネジメントを継続して実施するとともに、広報紙、市ホームページを利用した時刻表の周知など、身近にある公共交通網の啓発に取り組む。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。 今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p>	
五島市地域公共交通活性化再生協議会	<p>【事業内容】 (1)利用満足度調査 (2)協議会の開催</p> <p>【結果概要】 (1)利用満足度調査 ①実施区域 五島市全域 ②実施期間 平成29年6月19日～平成30年3月29日 ③事業の内容 平成28年10月及び平成29年4月に再編した 路線バス、乗合タクシー及び市営交通船について 地域公共交通網形成計画に定める目標の達成 状況の評価を実施するために、主に再編を実施 した各路線の利用者に対して聞き取り調査など を行い、計画に定める指標である利用満足度及び 改善点等を把握し事業評価の判断材料とする。</p> <p>(2)協議会の開催 五島市地域公共交通活性化再生協議会の開催 第1回：平成29年5月29日 第2回：平成29年7月19日 第3回：平成29年11月24日 第4回：平成30年2月23日（予定）</p>	A	<p>今後、運行事業者や関係機関等と協議しながら、改善すべき点について随時見直しを行うこととする。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。 今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p>	
九重町地域交通協議会	<p>【公共交通マップの作成】 現在行っている公共交通の再編を考慮した、町内すべての公共交通を網羅した交通マップ及び総合時刻表を策定中。 住民意見の聴取を行い、行き先別の乗り換え案内等への意見が多くあったため、意見を反映した交通マップを策定中。 マップについては、住民への全戸配布及び主要施設等へ配布し活用する予定。</p>	A	<p>公共交通マップは利用促進資料であり、策定するのみではなく、マップを活用し乗り方教室や住民座談会等の具体的な利用促進を行っていく必要がある。</p>	<p>事業終了後に適切に評価が行われるとともに、今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p>	
大分県地域公共交通活性化協議会	<p>28年度に両圏域において策定した地域公共交通網形成計画に基づき、利用者が行きたい場所に行くのに分かりやすい情報を提供するため、周辺施設等の位置情報を掲載した路線図及び時刻表を作成。 また、高齢者に対する公共交通を利用した外出を促進するため、「バスの乗り方教室」を開催し、高齢者に対して公共交通を利用した外出パターンの周知等の実施。</p> <p>①バスマップ・時刻表（北部圏） 155,000部 ・中津市：80,000部 ・宇佐市：60,000部 ・豊後高田市：15,000部</p> <p>②バスマップ・時刻表（豊肥圏） 作成予定</p> <p>③バスの乗り方教室（北部圏） 実施協議中</p> <p>④バスの乗り方教室（豊肥圏） 実施協議中</p>	A	<p>今回作成した路線図・時刻表や実施予定のバスの乗り方教室を通じ、公共交通の利用促進を図るとともに、計画期間内における利用者動向等について注視していく。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。 今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	<p>地域住民に対するモビリティマネジメント策（公共交通を利用した外出促進事業）の実施</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画において運行形態を改善した路線（実証運行）の現況と課題整理</li> <li>・運行形態を改善した路線について、試乗体験イベントを実施した。（宮砥地区及び堀岳地区の2回開催）</li> <li>・利用者にアンケート調査</li> <li>・利用促進のための乗り方ムービー製作（竹田市予算）</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画において運行形態を改善した路線につき、現況と課題整理のため、また利用促進をすることで、運行形態変更後のスムーズな利用者への周知・利用率の向上に繋げるため実施した。</li> <li>・試乗体験イベント時に、利用者にアンケート調査を実施し、改善点、改善策を模索した。</li> <li>・この事業風景の映像を撮影編集し、利用促進のための乗り方ムービーを製作した。2月～3月にかけて、本市営のケーブルテレビや、地元説明会の際に、活用する。（竹田市予算）</li> </ul>	A	<p>今後このイベントように、地域の高齢者や利用者や密接した機関と連携し、路線に応じた地域交通の使い方を周知し利用率向上のための利用促進を実施したい。</p>	<p>ワークショップや利用促進については利用する可能性の高い方に客体を絞って実施される方がより効果的である旨、第三者評価委員会からも助言があったところである。</p> <p>今後の方針に上げられた取組みとともに、今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p>	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	<p>公共交通マップ・時刻表の作成</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉機関との意見交換及び現況確認と課題整理</li> <li>・観光協会等関係機関との意見交換及び現況確認と課題整理</li> <li>・公共交通マップ・時刻表の印刷</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田市は、高齢化が進んでいるため、交通マップ・時刻表の作成において、まず高齢者が見やすいものでないといけないことから、作成にあたり各関係機関のニーズを把握した。また、本市は、観光地が点在することから、観光協会等関係機関のニーズも把握した。</li> <li>・それらを基に、3月に公共交通マップ・時刻表の印刷を行う。</li> </ul>	B	<p>今まで、竹田市には公共交通マップが、掲載されているわかりやすい時刻表は、存在しなかったため、作成後には竹田市民及び観光案内所・医療施設等に配布し、周知に努めることで、利用率の向上が見込まれる。</p>	<p>事業終了後に適切に評価が行われるとともに、今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p>	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	<p>モニタリング調査の実施</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田市全路線乗降調査11月及び2月</li> <li>・市内タクシー協会及びバス会社現況調査</li> <li>・地域別調査</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画を基に、計画目標1で定めた生活実態に合わせた地域公共交通網の再構築を行うため、乗降調査、運業者、地域の現状を調査した。</li> <li>・調査結果を基に、次年度からの再編案を3月交通会議に提案する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画を基に、本年2路線の見直しを行っているが、地域別調査等の結果により、次年度についての再編の計画案を確定する。</li> <li>・利用率向上に向けて、地域に応じた運行となるような改善が見込まれる。</li> </ul>	<p>事業終了後に適切に評価が行われるとともに、今回実施された推進事業の成果が地域公共交通のためにしっかりと実を結ぶことを期待する。</p>	
南さつま市地域公共交通協議会	<p>1. わかりやすいバスマップの作成</p> <p>路線バス・コミュニティバス等の運行ルートを1枚の紙面上に統合したバスマップを作成することで、目的地までのルート及び乗り継ぎが迷わず行えるなど、利便性の向上を図ることができた。 （現在作成中、平成30年3月末完成予定）</p> <p>2. 目標の効果検証のためのモニタリング調査</p> <p>運行事業者の協力の下、コミュニティバスの利用者数について、期間を定め集計を行うことで、計画に掲げた目標の達成に向けた効果検証が行えた。</p> <p>3. 公共交通利用促進ワーキングの開催</p> <p>医療及び商業関係者からの意見聴取、交通事業者を参集したワーキングなどを開催することで、市公共交通全体に寄与する利用促進策として、市街地での移動手段確保及び活性化に係る協議を行うことができた。また、協議結果に基づき実施した実証運行では、その効果についての検証まで行うことができた。</p>	A	<p>①にて作成したバスマップについては、その使いやすさ、用途及び必要性について、住民座談会など直接的に意見を聞く機会を利用して検証を行い、改訂版の作成に反映させたい。</p> <p>②のモニタリング調査では、運行ルートの見直し直後、一定期間後など、特定の期間の変動についても、検証を行う必要性を感じた。</p> <p>③利用促進ワーキングについては、実証運行にて得た検証結果を再確認するとともに、課題についても解決する手段を検討し、本格運行が円滑に行えるよう取組を進めたい。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられる。</p> <p>今回得られた成果や課題が今後の地域公共交通の確保維持にしっかりと繋がることを期待する。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通 会議	<p>【事業内容】</p> <p>1. 市街地循環バス等の利用促進に係るワークショップの開催 ワークショップを通じて、市民の皆さんと直接的コミュニケーションを行い、路線バスやふれあいバスの利用促進に向けた取組を行う。(市街地等における公共交通のあり方についての研究・提言等もワークショップの内容に含める。)</p> <p>2. 効果検証のためのOD調査 計画の達成状況等の評価を行うため、路線バス等への乗込みを行い、バス利用者のOD調査を実施する。</p> <p>3. 地域公共交通会議の開催 計画に基づく事業評価を実施するための協議会を開催する。</p> <p>【結果概要】</p> <p>1. ワークショップを開催し、次のような成果が得られた。 ①市の公共交通の現状について参加者と情報共有を図ることができた。 ②公共交通の利用促進の気運を醸成することができた。 ③市の公共交通の現状に関する多くの問題点が提起されたと同時に利用促進に関する様々な提言がなされた。</p> <p>2. 市街地循環バス等への乗り込み調査を行い、OD調査を行うと同時に、利用者の外出の目的、時間帯、日ごろの利用区間において感じている問題点など、ヒアリングを行い、利用者の外出実態等の分析ができた。</p>	A	<p>ワークショップでは利用促進等に関する総論の意見交換にとどまったため、次回以降実施する場合は、内容を掘下げ、具体事業についての意見交換を実施したい。 また、本年度はコミュニティバスの路線再編等は実施したが、利便性が向上したことの周知が十分になされていない可能性があるため、今後は利用促進のための啓発に力を入れると同時に住民ニーズを十分に把握し、随時、見直しを実施していきたい。</p>	<p>事業の結果概要と今後の課題の評価が一致していないことに注目される。 ワークショップや利用促進については利用する可能性の高い方に客体を絞って実施される方がより効果的である旨、第三者評価委員会からも助言があったところであり、今後の取組みに期待される。</p>	